

内閣府 SIP「スマート防災ネットワークの構築」の研究開発成果の社会実装に向けた
「民間社会実装モデル検討会」への参画について
～「Chainable」を実証実験基盤として活用予定～

2026 年 8 月 17 日

東京海上ディーアール株式会社（以下、当社）は、I－レジリエンス株式会社が主催する「民間社会実装モデル検討会」に参画しています。

本検討会の詳細については、主催者である I－レジリエンス株式会社のプレスリリースをご参照ください。

▶ [I－レジリエンス株式会社 プレスリリース（2026 年 8 月 3 日）]

https://i-resilience.co.jp/wp/wp-content/uploads/2026/08/20260803_pressrelease.pdf

本検討会では、当社が提供するアプリケーション「Chainable」に研究開発成果を搭載し、企業へのヒアリングを通じて、研究成果の価値や社会実装に必要な要素を検証する予定です。

この実証実験のため、当社としてヒアリングにご協力いただける企業を募集いたします。

詳細は「2. 実証実験（企業向けヒアリング）ご協力のお願い」をご確認ください。

1. 本検討会の概要

本検討会は、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第 3 期「スマート防災ネットワークの構築」のサブ課題 A「災害情報の広域かつ瞬時把握・共有」に関連した取組みです。I－レジリエンス株式会社主催のもと複数の機関が参画しています。当社はその中の「防災アプリ開発者・提供者」として、研究開発成果を「Chainable」に搭載し、民間企業へのヒアリングを通じて社会実装可能性を検証します。

2026 年度は、集中豪雨による局所的な都市型水害発生時に、企業が災害対応を速やかに判断できる情報プロダクツのあり方を検討します。

区分	機関
民間社会実装プラットフォーム運営者	I－レジリエンス株式会社（主催）
SIP サブ課題 A 統括・情報加工ロジック開発者	国立研究開発法人 防災科学技術研究所
データ／情報プロダクツ提供者	I－レジリエンス株式会社、株式会社 JX 通信社、LocationMind 株式会社、ジオテクノロジーズ株式会社、矢崎エナジーシステム株式会社
防災アプリ開発者・提供者	東京海上ディーアール株式会社（当社）

2. 実証実験（企業向けヒアリング）ご協力のお願い

上記の社会実装に向けて、技術面、運用面、コストなどの社会実装モデルの成立可能性を検証するため、多くの企業から意見を募りたいと考えています。そのため、ヒアリングにご協力いただける企業様を広く募集いたします。

募集対象： 遠隔地で発生する都市型水害の発生検知や拠点への対応指示に課題をお持ちの企業ご担当者様（総務部、リスク管理部など）。

ヒアリング内容： Chainable 上に搭載した情報プロダクトをご覧いただきながら、実務における有用性や課題についてご意見を伺う予定です。

実施期間： 2026 年 9 月～10 月頃を予定

お申込・お問い合わせ： メール件名に「社会実装ヒアリング参加」とご記入のうえ、以下のメールアドレス宛にご連絡ください。

TdR_ML250@tokio-dr.co.jp

（ご参考）「Chainable」について

「Chainable」は、自社・取引先の拠点と国内外の自然災害情報等のリスクの把握から対応までを支援するために、当社が開発・提供しているクラウドサービスです。

あらゆる災害をひとつのアプリに

- 国内外の災害発生時に、拠点の状況をリアルタイムに把握、初動対応の自動化を支援
- モバイルアプリにも対応しているため、休日・夜間でも利用可能
- 災害時はもちろん平時にも、フェーズフリーな活用が可能

機能の詳細や導入事例は以下の Chainable 特設サイトをご確認ください。

<https://www.tokio-dr.jp/chainable/LP.html>

本件に関するお問い合わせ

東京海上ディーアール株式会社

企業財産本部 データビジネス創発ユニット

(TdR_ML250@tokio-dr.co.jp)